

## 物語 『おれからもうひとりのぼくへ』

相川郁恵／作 佐藤真紀子／絵 岩崎書店



### パラレルワールドへ

智が、公園へ自転車で向かっていると、突然、目の前に自分にそっくりな自転車に乗った男の子が現れ、ぶつかりそうになります。その瞬間から、なにもかもがちょっとずつ違う世界にいるようでした。親友であるはずの翔平とまさとはよそよそしいし、お母さんは上品で優しいし、自分の部屋にはあるはずのない本が棚にぎっしり…。家族や、クラスメイトの外見は同じなのに、性格や話し方、関係性が違っていました。どうやら、

智はパラレルワールド、つまり、自分のいる世界とそっくりな世界に来てしまったようです。

最初は、智が来た世界のクラスの雰囲気が悪くて、早く元の世界に戻りたいと思っていましたが、少しずつこちらの世界の良さにも気付いていきます。

もしも、自分がパラレルワールドへ行ったら？と、想像しながら読むと楽しいですよ。

## 物語 『サイコーの通知表』

### 子ども達から先生への通知表

「通知表は何のためにあるんだろう？」。3段階で評価されてしまうことや、項目の言葉が難しいこと、苦手なことをどんな風にかんがればよいのかが分からないことなど、通知表に不満がある小学4年生の子ども達。父から、会社では部下が上司の成績をつけることがあると聞いた朝陽は、「先生の通知表をつけよう。」と、クラスのみんなに提案します。

その日から、クラスのみんなと、担任の先生をじっくり観察することにしました。そして、通知表の項目や、評価の基準、どんな通知表を作るべきなのかを話し合っています。でも、人によって違う評価をしていて、成績をつけるのはとても難しいようです。

子ども達が先生を想う気持ちが優しい物語です。



## 国際理解 『6カ国転校生ナー ज्याの発見』

てんこうせい

キリーロバ・ナー ज्या／著 集英社

### 世界でこんなにも違う！？学校事情



日本、ロシア、イギリス、フランス、アメリカ、カナダの6カ国の小中学校を転校して回った著者の実体験を元に書かれた各国の学校事情を知ることが出来る本です。

国によって、小学校に入学する年齢や、教室の座席のレイアウト、授業で使う筆記用具やノート、テストなどに様々な違いがあり、日本での常識が他の国ではひっくり返されることもあります。

例えば、ロシアの小学校では、背の高い子が先頭に並びます。フランスのテストは、満点を取ることが難しく作られています。このように、日本との違いに驚くことばかりなのですが、その理由を読んでみるとさらに面白いですよ。

## 物語 『少女ポリアンナ』

① エレナ・ポーター／作 立原えりか／編訳 学研プラス

② エレナ・ポーター／作 木村由利子／訳 角川書店

### 「幸せゲーム」で人々を幸せにした少女の物語

少女ポリアンナは、11歳で両親を亡くし、叔母であるミス・ポリーのもとに引き取られました。

ポリアンナは、「幸せゲーム」が大好きでした。これは、ポリアンナがお父さんから教えてもらったもので、辛いことや悲しいことが起きた時に、幸せな気持ちになるように考えるというものです。

例えば、クリスマスプレゼントに人形が欲しかったのにつえをもらった時には、つえがあるとケガをした時に困らないから幸せと考えるのです。

このポリアンナの考え方が、周りの人達の心を変えていきました…。みなさんも「幸せゲーム」してみませんか？

